

平成27年度 厚生労働科学研究費補助金事業

長寿科学総合研究



公益財団法人 長寿科学振興財団

長寿科学総合研究とは

医療・介護ニーズの爆発的増大が見込まれる中、地域包括ケアシステムの構築により、在宅高齢者への医療と介護の提供、介護予防・生活支援をより充実する必要があります。高齢者の介護予防や健康保持などに向けた取り組みを一層推進するため、高齢者に特徴的な疾病・病態等に着目し、それらの予防・早期診断・治療・介入プログラムや標準的ケアの確立に向けた研究を行います。

- (1)「活動」と「参加」に向けた高齢者の生活期リハビリテーションの標準化等を推進するための研究
- (2)在宅医療・介護連携の推進を支援するための研究
- (3)要介護者の経口摂取支援のための歯科と栄養の連携を推進するための研究
- (4)介護保険の認知症リハビリテーションの標準化に関する研究

長寿科学総合研究推進事業とは

当財団では、厚生労働科学研究費(長寿科学総合研究)の採択課題の研究を支援するため、次の事業を行っています。この公募の案内は、関係する研究者に通知するとともに財団のホームページ(<http://www.tyojyu.or.jp>)にも掲載しています。

●外国人研究者招へい事業

当該分野で優れた研究を行っている外国人研究者を招へいし、海外との研究協力を推進する事業。

●外国への日本人研究者派遣事業

研究代表者又は研究分担者と同一機関に所属する若手日本人研究者を外国の研究機関に派遣し、当該研究課題に関する研究を実施することにより、我が国における当該研究の推進を図る事業。

●リサーチ・レジデント事業(若手研究者育成活用事業)

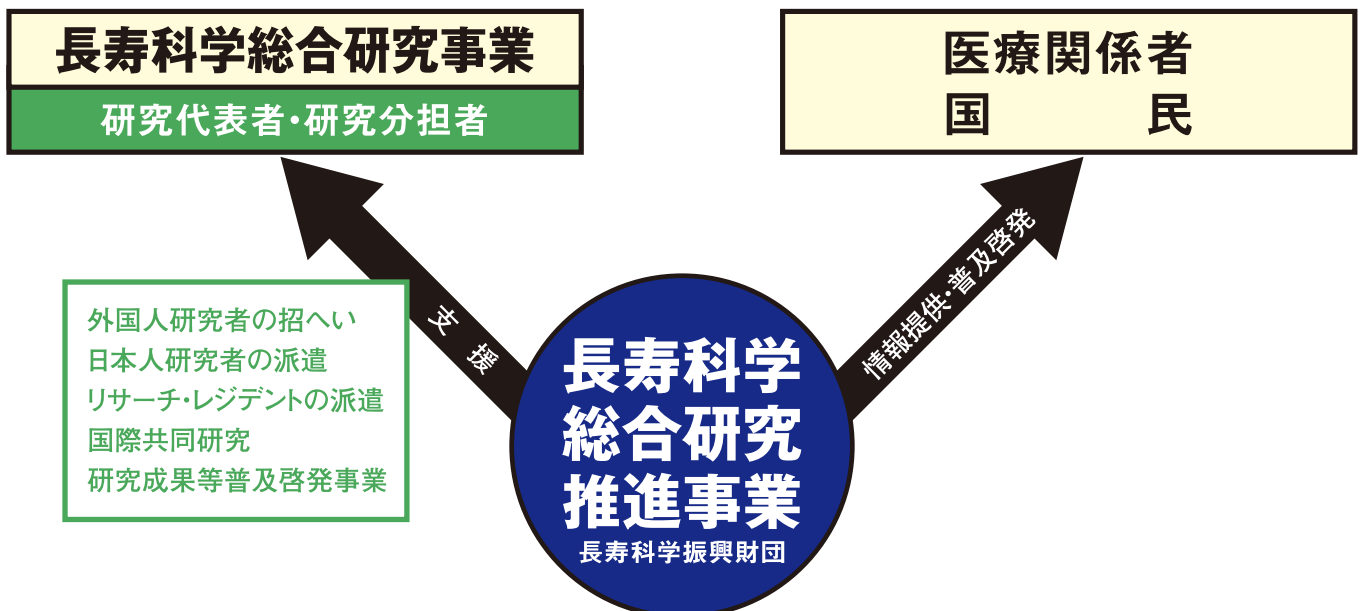
研究代表者又は研究分担者の所属する研究機関に当該研究課題に関する研究に専念する若手研究者を一定期間派遣し、当該研究の推進を図るとともに、将来の我が国の研究の中核となる人材を育成する事業。

●国際共同研究事業

外国人研究者と日本人研究者が共同で、当該研究に係る国際共同研究を取り組むことにより、当該研究の推進を図る事業。

●研究成果等普及啓発事業

当該研究の研究成果等について、関係の深い分野の専門的研究を行っている研究者や専門的な知識を持たない一般の国民を念頭に置いた発表会の開催及び当該研究事業の取組みを分かり易くしたパンフレットを作成することにより、当該研究の一層の推進と科学技術に対する国民の理解の増進、関心の喚起に資することを目的とする事業。



厚生労働科学研究費補助金による研究内容の一部を紹介します

介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究

目的: 保険者が介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるためには、そのための情報基盤の構築が不可欠である。本研究では介護予防の基本チェックリストやアセスメント結果、さらには介護給付情報等を総合的に分析するための情報基盤構築を行うことを目的とした。

方法: 1) 調査協力自治体の介護関連の既存情報(基本チェックリスト、アセスメント結果、二次予防事業の種類と参加状況、介護認定情報、介護給付情報)を個人ベースでデータベース化し、地区診断等の分析を行うシステムを開発した。
2) 自治体担当者を対象として、上記システムの説明会を行った。
3) 本システムに連結可能な日常生活圏域ニーズ調査システムの開発を行った。

結果: 本システムを用いることで、図1、図2に示すように各自自治体が行っている予防事業の効果を検証することができた。

結論: 市町村の持つ既存の保健医療介護情報を連結することで、政策の立案・評価のための種々の情報が作成できる。今後、その一般化のための取り組みが必要である。

図1 介護予防事業の効果



介護予防事業に参加した者と参加しなかった者でその後の介護保険事業の利用状況を検証したところ、全体の利用率には差がなかったが、参加者では非参加者に比較して、軽度の者が多く、平均給付額が少ないという効果が観察された。

図2 肺炎球菌ワクチンの効果

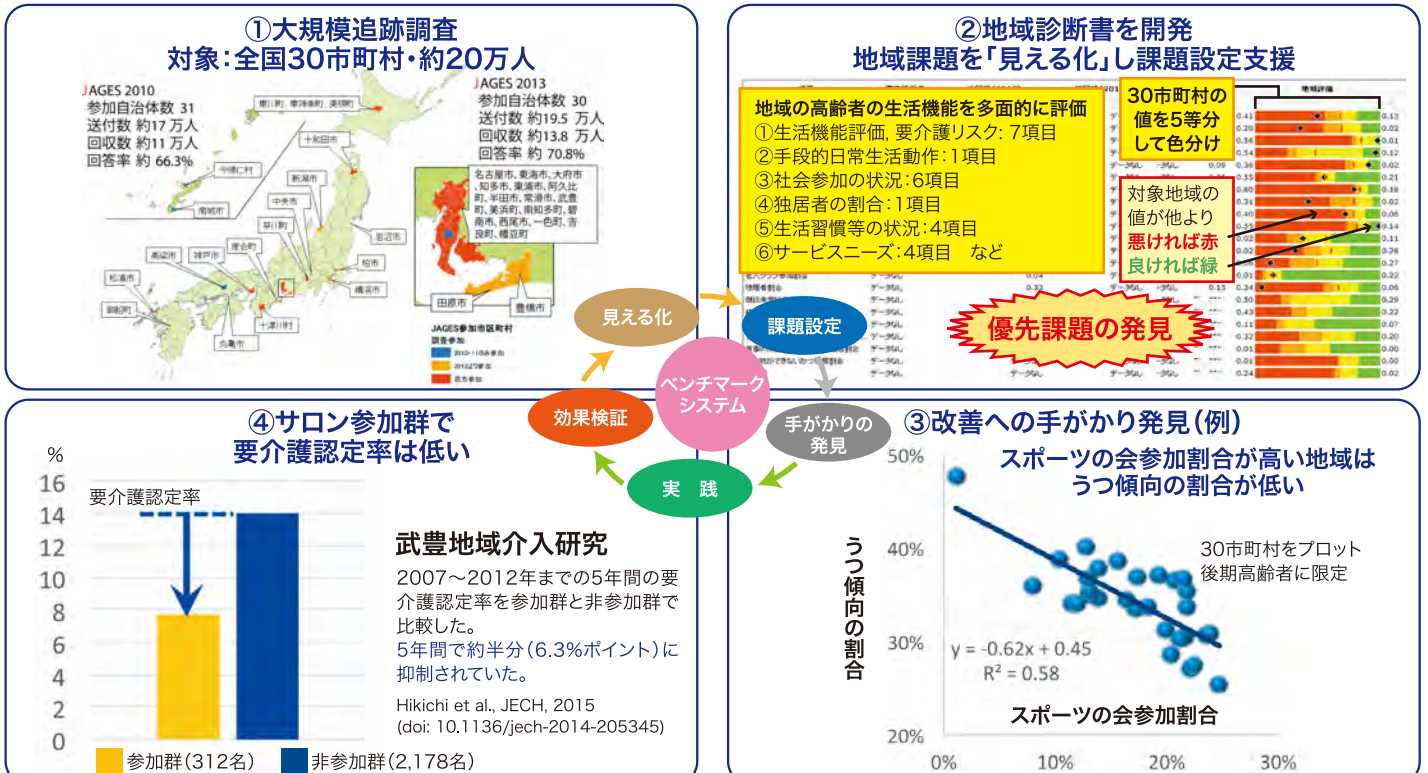
| 対象者(人) | 観察月 | 肺炎発症(人) | 罹患率 | 罹患率一人当たり肺炎医療費(円) | | | | |
|---|-------|---------|-----|------------------|------------------------|-----------------|-------------|------------|
| | | | | 平均 | 標準偏差 | | | |
| ワクチン接種 | 1,134 | 7,983 | 89 | 0.01115 | 350,978 613,619 | | | |
| ワクチン未接種 | 2,760 | 30,456 | 424 | 0.01392 | 1,179,856 1,758,259 | | | |
| 費用効果分析 | | | | | | | | |
| 1万人の高齢者 | | | | | | | | |
| 予防接種をしなかった場合の肺炎医療費=10000人×罹患率(0.01392)×罹患率一人当たり肺炎医療費(1,758,259) (A) | | | | | | 164,256,315 | | |
| 予防接種をした場合の肺炎医療費=10000人×罹患率(0.01115)×罹患率一人当たり肺炎医療費(350,978) (B) | | | | | | 39,129,425 | | |
| | | | | | | 利得 (C) | 125,126,890 | |
| | | | | | | ワクチン接種費用を考慮した利得 | | |
| 肺炎ワクチン接種費用=7000×10000 | | | | | | 70,000,000 (D) | (D)-(C) | 55,126,890 |
| 原価=4835円 | | | | | | 48,350,000 (E) | (D)-(E) | 76,776,890 |

接種群は未接種群より統計学的にも有意に肺炎罹患率が低く、またかかった場合の医療費も少なかった。費用効果分析でも有意な医療費節約効果が推計された。

松田 晋哉 | 産業医科大学 医学部・公衆衛生学 教授

介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究

目的: 保険者(市町村)が、要介護リスクや社会資源等をアセスメントし課題設定して、根拠に基づき戦略的に介護予防を推進し、その効果検証をできるマネジメントシステムを開発。



近藤 克則 | 千葉大学 予防医学センター 教授

公益財団法人 長寿科学振興財団とは

本財団は、国立長寿医療研究センターの設置とともに、国の「高齢者保健福祉推進十か年戦略」の重要な柱として位置付けられ、各界からの幅広いご支援のもとに、我が国の長寿科学研究を側面から支援する財団として、平成元年12月に設立されました。

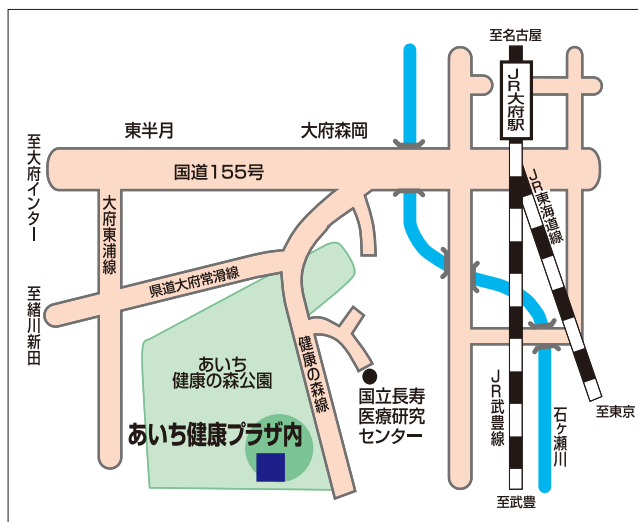
本財団には、昭和天皇の一周年祭にあたり、天皇陛下・皇太后陛下から、長寿科学研究推進に資する思し召しにより、昭和天皇の御遺産から、更に平成13年4月には、香淳皇后の御遺産から御下賜金が賜与されました。

世界一の長寿国である我が国において、長寿科学研究の振興は、極めて重要な事業であることから、厚生労働科学研究の各種推進事業の遂行に努力し、これからも『明るく活力ある長寿社会』の構築に、貢献して参ります。



公益財団法人 長寿科学振興財団

<http://www.tyojyu.or.jp>



公益財団法人 長寿科学振興財団

〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山1番地1

あいち健康の森 健康科学総合センター4階

TEL.0562-84-5411 FAX.0562-84-5414

E-mail:soumu@tyojyu.or.jp